

## 和歌山電鐵（株）貴志川線について

### <和歌山電鐵（株）貴志川線運行までの概要>

貴志川線は、和歌山市と紀の川市貴志川町を結ぶ、14.3 kmの路線です。

その歴史は、大正5年、沿線三社への参詣客をはじめとした貨客輸送を目的に、軽便鉄道として開業したことに始まります。

しかし他のローカル線と同様、モータリゼーションの到来により、昭和40年代後半をピークに利用者は年々減少、45年間に亘って運行してきた南海電鉄は、平成15年に廃止を表明しました。

これを受け、立ち上がったのが沿線住民の皆様です。この自立的な存続運動は、他に例を見ないほど大変な広がりや盛り上がりを見せ、その中心となった住民団体「貴志川線の未来をつくる会」の会員数は最大で6千人を超えました。

これが強力な後押しとなって、沿線の和歌山市、貴志川町（現：紀の川市）、和歌山県は、第三セクターではなく民間単独出資で経営することを原則とした支援のスキームづくりに取り組み、全国初の後継事業者の“公募”によって、現在の和歌山電鐵（株）に引き継がれました。

### ●沿線自治体の支援内容

初期投資 (用地取得)	和歌山県 用地取得費用（2億3千万円）を和歌山市・紀の川市に全額補助 用地は両市が保有し、事業者は無償貸与
施設整備支援 (変電所の大規模改修)	和歌山県 変電所改修費用（2億4千万円）を負担
運営支援 (欠損補助)	和歌山市と紀の川市 18年度から27年度の10年間の運営支援金（欠損補助）として 8億2千万円（8,200万円/年）を限度に負担

こうして平成18年4月1日より「和歌山電鐵貴志川線」として再スタートを切りました。

### ■再スタートのためのポイント

- 沿線住民の熱意と行動
- 行政の支援（沿線自治体の協力体制）
- 既存事業者（南海電鉄）の協力
- 運行事業者は、第三セクターとせず、100%単独出資の民間事業者による運行
- 運行事業者と地域の関係者が一体となり、利用促進策、サービス改善策に取組

<利用促進のための主な取り組み>

○「いちご電車」運行開始（平成 18 年 8 月）

「いちご」をモチーフにした、とてもかわいいデザインの電車。地域の方々に、貴志川線を「私たちの電車」としていつまでも使っていただきたい、という再生への願いが込められています。

改装費用はサポーターとして募集し、沿線の皆様を中心にわずか数ヶ月で 2,500 件、1 千万円ものご協力をいただきました。

○「たま」貴志駅長就任（平成 19 年 1 月）

住み家を失いかけていた駅隣接の売店で飼われていた三毛猫を助けるため、合理化で無人となった貴志駅の駅長として任命。その駅長の業務は、「客招き」。

その後は「たま駅長」の天賦の才と沿線の方々のご尽力で、全国、そして海外にも知られる人気者になりました。年々出世を重ね、今では和歌山県勲功爵、常務執行役員の肩書きを持つスーパー駅長です。



いちご電車



たま駅長



おもちゃ電車



たま電車

※和歌山県知事から、駅長「たま」に対し、和歌山を全国へ発信した功績を称えて、「和歌山県勲功爵」（わかやま DE ナイト）の称号を授与。（平成 20 年 10 月）

また、和歌山県に多くの観光客を招いていただくことを願い「和歌山県観光まねき大明神」を委嘱した。（平成 23 年 1 月）

○「おもちゃ電車」運行開始（平成 19 年 7 月）

車内にはおもちゃのショーケースやガチャガチャなど、遊び心が満載の電車。

○「たま電車」運行開始（平成 21 年 3 月）

電車の外には 101 匹の「たま駅長」、そして車内にはベンチ、背もたれ、床や壁、いたるところに猫がいっぱい！の電車です。

○貴志駅リニューアル（平成 22 年 8 月）

「木の国」和歌山にふさわしい、世界で唯一、檜皮葺きの猫の顔をした駅舎です。待合室の「たまカフェ」では、地元紀の川市のふんだんな果物を生かしたジェラートや生ジュースが味わえます。

貴志川線の 50 年、100 年の存続の象徴になってほしい、という願いが込められた駅舎です。

## 貴志駅舎



ニタマ駅長

### ○「ニタマ」伊太祈曽駅長兼貴志駅長代行就任（平成 24 年 2 月）

たま駅長の業務睡好のため、たまに似た二番目の三毛猫から名づけられた「ニタマ」を部下とし、貴志駅長代行と伊太祈曽駅長として任命。持ち前の人懐っこさで一躍人気者に。

### ○パークアンドライド・サイクルアンドライドの推進

駅駐車場の整備（伊太祈曽駅）

駅駐輪場の整備（岡崎前駅、田中口駅、伊太祈曽駅、竈山駅、吉礼駅、日前宮駅）

### ○乗降環境の改善

トイレの整備・美化（貴志駅、伊太祈曽駅、日前宮駅）

ベンチの設置（各駅） \*沿線企業、向陽高校、和歌山東高校、貴志川高校等からの寄付

### ○老朽化設備の更新

分岐器の更新（日前宮、岡崎前、伊太祈曽）

変電所の集約（3ヶ所→1ヶ所）と電車線の昇圧（600V→1,500V）

道床・レール・マクラギ・踏切保安設備等の更新

### ○「チャレンジ 250 万人 あと 4 回多く乗って永續させよう」キャンペーンを展開

・チャレンジ 250 万人祈念「あと 4 回きっぷ」の販売

### <地域の協働、連携>

貴志川線では、事業者、沿線の住民団体、学校、商工団体、和歌山市、紀の川市、県などが参画している「貴志川線運営委員会」において、毎月 1 回、これらのメンバーが集まり、利用促進の取り組みなど様々な意見交換、情報交換を行い、事業者、沿線の住民団体、行政が一体となり取り組んでいます。

また、地域との協働・連携としては、「貴志川線の未来をつくる会」を中心とした沿線住民による物心両面にわたった熱意ある取り組みがあります。

つくる会では、「貴志川線祭り」「駅のペンキ塗り大会」「たけのこ掘り」「じゃがいも掘り」「歌声電車」・・・等々のイベントから、多客時の整理、駅の大掃除、駅周辺へのポスティング、そして和歌山電鐵グッズの販売まで、事業者と一心同体になって活動しています。



貴志川線祭り



電車に乗って、たけのこ掘り



駅ペンキ塗り大会

## <現況と今後の課題>

### ■輸送人員の推移

(単位：千人)

	17年度 (南海電鉄)	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
定期外	636	716	765	800	769	758	721	749	776
通勤定期	631	721	674	704	686	683	690	663	695
通学定期	655	677	679	686	716	731	771	754	827
合計	1,922	2,114	2,118	2,190	2,170	2,171	2,182	2,166	2,298

### ■損益

(単位：万円)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
損益	△15,984	△11,148	△6,939	△7,643	△7,754	△8,117	△8,161	△8,147
欠損補助	8,200	8,200	6,939	7,643	7,754	8,117	8,161	8,147
最終損益	△7,784	△2,948	0	0	0	0	0	0

### ■今後の課題

- ・ 老朽化した設備の更新（道床、レール、マクラギ、木柱、信号設備、踏切、駅舎等）  
→地域鉄道に対する、国の財政支援の拡充・強化
- ・ 利用者増、特に沿線住民の利用促進・定期利用者の定着  
沿線住民自らが「貴志川線に乗って残そう」という気運の更なる醸成  
(乗車人員の目標)  
250万人/年…沿線の皆様が年にあと4回（2往復）乗ることにより達成
- ・ 赤字を解消し、安定的・永続的な運営

平成18年4月1日から和歌山電鐵貴志川線として運行を開始した当初の地元自治体による支援の枠組み（10年間）が平成27年度末で終了する。

貴志川線の存続は、地域住民の移動手段として、また地域の振興にとって大変重要なものと考えており、今後予想される設備更新計画等を踏まえ、存続に向けた新たな枠組みについて、和歌山電鐵、和歌山市、紀の川市と協議を行っているところ。

# 『1年間にあと4回』多く 貴志川線を利用しましょう！

ウルトラ駅長「たま」や個性あふれる電車で、全国にファンがいる貴志川線。

継続運行（平成18年度）以降、事業者や地域の方々によるイベントなど様々な取り組みを行い、17年度（南海電鉄運行時）よりも大幅に利用者が増加しています。

しかし、鉄道施設の老朽化により修繕費等の経費が増加し、赤字運営に直面しています。

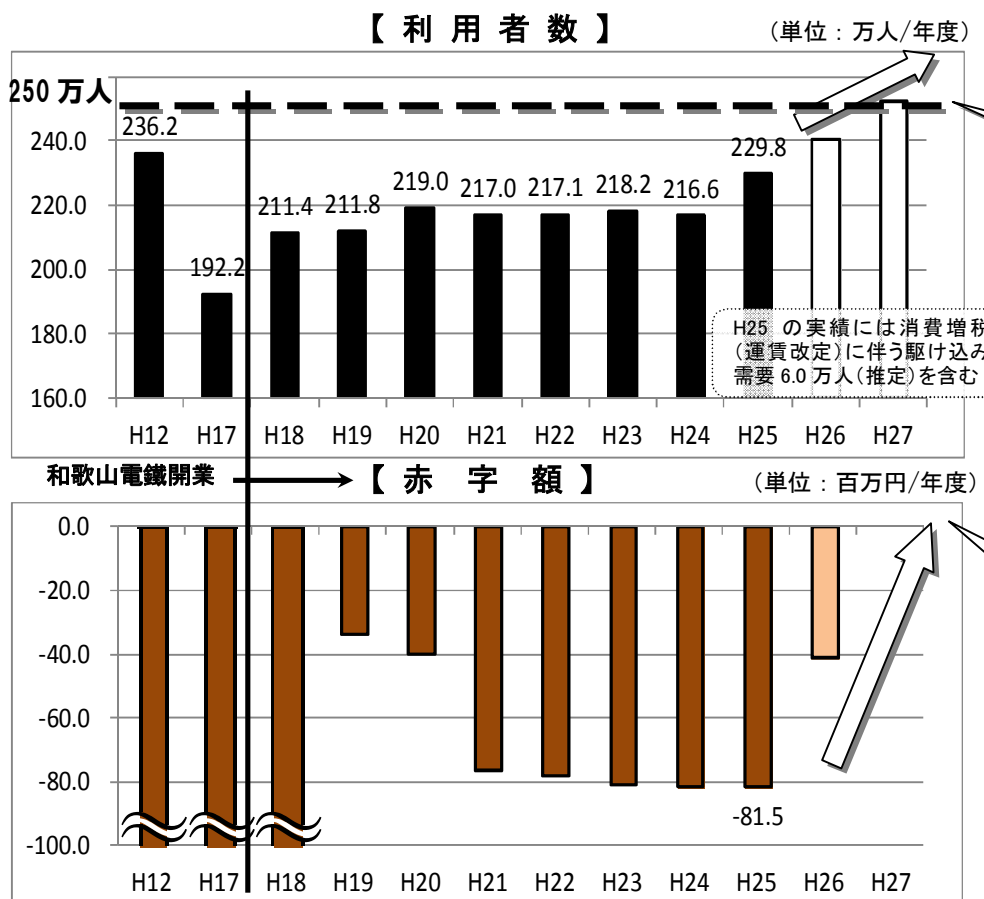
このままでは再び廃線の危機を迎えるかもしれません。貴志川線の安定的・永続的な運営を実現するためには、赤字運営からの脱却が必要です。

**年間250万人のご利用があれば、永続につながる可能性が高まります！**

利用者数250万人を達成するには、沿線住民の皆様が1年間に今よりも4回（2往復）多く利用していただくことが必要です。

地域に必要な移動手段を永続させるため、

**あと4回多くご利用くださいますよう、皆様のご協力をお願いします！！**



沿線の皆様が1年間にあと4回多く利用していただくことで利用者数が250万人を達成

赤字解消に転じる可能性大！！  
貴志川線の将来への永続の第一歩！！

今後更に深刻化する高齢化により、自動車を運転できない高齢者等のいわゆる交通弱者が増大し、将来的に公共交通が一層重要性を増すことが予測されています。

必要となった時に、身近に移動手段がないということにならないよう、今から公共交通を利用することを心がけ、公共交通を維持しましょう。

和歌山市交通政策課  
073-435-1016  
貴志川線の未来を“つくる”会  
<http://kishigawa-sen.jp/>  
わかやま小町  
<http://komachi.ikora.tv/>



チャレンジ**250**万人 あと**4**回多く乗って永續させよう

# あなたの乗車が 貴志川線の永續につながります！

廃線の危機から再生に向け、平成18年に和歌山電鐵㈱により継続運行された貴志川線。  
継続運行時よりも利用者数は増加しているものの、いまだ赤字運営が続いています。  
再び廃線の危機に陥らぬよう、沿線の皆様が1年間にあと4回多く、貴志川線を利用するようご協力ください。



Designed by Eiji Mitooka+Don Design Associates

あと4回多く乗って  
永續させよう！  
「チャレンジ250万人祈念  
あと4回きっぷ」  
発売しています！  
ご協力をお願いします

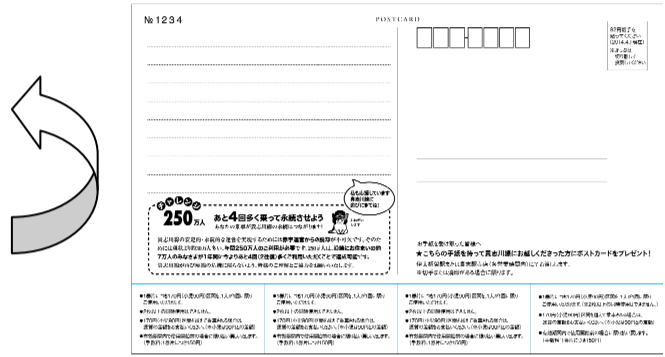
和歌山市・貴志川線の未来を“つくる”会・和歌山の交通まちづくりを進める会「わかやま小町」

# チャレンジ250万人祈念 あと4回きっぷ

## たま&ニタマ駅長秘蔵写真入りシート



- ◎たま駅長  
ウルトラ駅長の写真2枚
- ◎ニタマ駅長  
スーパー駅長、アゼリニヤの写真各1枚



使い終わったシートは  
ポストカードとしてお使いいただけます！

# 1シート170円きっぷ4枚付 680円

- 大人170円区間の普通乗車券4枚
- 有効期間 平成28年3月31日まで

### 170円区間を越えてご乗車される場合

例) 370円区間をご乗車される場合は、4回きっぷ1枚と運賃の差額200円をお支払いください

### 小児の方が4回きっぷでご乗車される場合

例1) 170円区間(小児90円区間)をご乗車される場合は、4回きっぷ1枚をお渡しく  
ただし、おつりは出ませんのでご注意ください

例2) 370円区間(小児190円区間)をご乗車される場合は、4回きっぷ1枚(小児90円区間)と  
小児運賃の差額100円をお支払いください

※乗車券2枚以上の同時使用はできません

発売場所 和歌山駅9番ホーム窓口(始発～終電)  
伊太祈曽駅窓口(9:00～17:30)  
貴志駅売店(10:00～16:00)  
貴志駅たまカフェ(9:00～17:00、毎月第3水曜定休)  
通信販売 ほか

チャレンジ250万人  
あと4回多く乗って永続させよう  
あなたの乗車が貴志川線の永続につながります!

お問い合わせ 和歌山電鐵株式会社 営業課 電話 073-478-0110